

福井県の 温暖化防止に向けた取り組み

商用水素ステーションオープン

福井市灯明寺4丁目の県道(通称・芦原街道)沿いに4月2日、県などの補助を受けた県内初の商用水素ステーションがオープンしました。北陸3県では富山市に次いで2カ所目で、1台当たり3分で充填が可能です。オープンに先立ち、3月27日には特別見学会も開催され、参加者はFCVを前に、水素による発電のしくみを学び、充填の様子を見学しました。



令和2年7月、水素ステーション整備の計画を発表する杉本知事



県内で初めてオープンした商用水素ステーション

FCVの導入促進

県は二酸化炭素削減の動きに伴い注目されているFCV導入を促進するため、個人や企業等への購入支援制度を創設しました。FCV購入の際に国の補助に上乗せして、県独自で最大100万円を補助します。また今年度、公用車としてFCVを県庁に2台、敦賀合同庁舎に1台配備します。



県が導入するFCV公用車

第3日曜日は「エコチャレ」の日!

エコチャレはだれでも気軽にできるエコなチャレンジ。2050年の二酸化炭素排出実質ゼロ実現に向け、テレビやSNSなどを通して、県民のみなさんに実践を呼び掛けています。11月には大人も子どもも楽しく環境保全が学べる「ふるさと環境フェア2021」を開催予定です。

県民から寄せられた「エコチャレ」の取り組み

- ・冷房の設定温度を1℃高くしてCO2削減
- ・窓の外の竹のカーテンで日差しを遮っています!
- ・マイボトルを利用してペットボトル商品を買わないようにしています!



知事メッセージ みなさんと一緒に

一人ひとりがエコに 取り組みましょう!

2050年の二酸化炭素排出実質ゼロ達成のためには、みなさん一人ひとりの取り組みが重要です。夏場のグリーンカーテンの設置や公共交通機関、自転車の利用など、チームふくいでエコ活動に取り組みましょう!



知事 杉本 達治

地域の経済活動も見据えた取り組みを進めていく必要がある」と言います。

環境保全においては、省エネのほかにも家庭からの食品ロス削減やごみの分別、河川や海岸など周辺環境の清掃活動、身のまわりの緑を増やすなどの自然環境を大切にすることを高めることも重要です。

協議会では、自然体験や環境教育にも力を入れており、昨年度は



環境ふくい推進協議会 企画委員会委員長の皆川陽一郎さん

協議会が選定した体験メニュー「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」を実践するイベントを開催しました。

また、今年度は楽しみながら環

境について学べる「ふるさと環境フェア」(隔年開催)の開催を計画しています。

本年4月には、県内初となる「商用水素ステーション」が福井市灯明寺に誕生。県は新たに、走行時に二酸化炭素を排出しない燃料電池自動車(FCV)購入の補助制度を創設するとともに、公用車として、FCVを導入するなど、次世代自動車の県内普及を進めて

◎環境政策課
TEL 0776-20-0301
FAX 0776-20-0734



会員団体による森林教室の様子



河川での清掃活動の様子



トヨタから県へ無償貸与されたFCV受領式の様子



イベントでのエコチャレ普及啓発

チームふくいでエコ活動



環境ふくい推進協議会

※環境ふくい推進協議会平成6年に設立された、個人、企業、団体、自治体らでつくる団体で、それぞれの立場で多様な環境問題に取り組んでいます。

6月は環境月間です。この期間には県や市町などが環境保全に関するさまざまな取り組みを行います。豊かな自然を守るためには、二酸化炭素などの温室効果ガスを減らし、森林による吸収分などと相殺して実質的な排出量をゼロにすることが重要です。

地球温暖化ストップ県民運動を展開。その中で、県民一人ひとりが省エネ活動に取り組む「エコチャレ」を推進しています。

県では、昨年7月に策定した「福井県長期ビジョン」において、2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指すことを明記しました。目標の達成に向けて、太陽光や水力発電など再生可能エネルギーの導入を推進するほか、日常生活や企業活動、環境教育等の分野で

県とともに環境保全の啓発活動や実践活動を担っているのが「環境ふくい推進協議会」です。協議会の会員数は、個人・団体・企業・市町など1300を超え、地域に根ざした活動を行っています。県に協力してエコチャレへの県民参加促進に取り組んできた、協議会で企画委員会委員長を務める皆川陽一郎さんは、「まずこうした一人ひとりの小さな行動が重要。そして行政や企業は大きな視点で、

境について学べる「ふるさと環境フェア」(隔年開催)の開催を計画しています。

本年4月には、県内初となる「商用水素ステーション」が福井市灯明寺に誕生。県は新たに、走行時に二酸化炭素を排出しない燃料電池自動車(FCV)購入の補助制度を創設するとともに、公用車として、FCVを導入するなど、次世代自動車の県内普及を進めて

今後福井の未来のために、県や企業、県民等の様々な主体が参画する取り組みを展開していきます。